

第3回 事業所支援チーム実行委員会

日時 令和4年6月24日 午後6時

場所 災害対策室 3-2

1 あいさつ

2 報告事項

- ・第2回新城市福祉従事者支援施策推進会議の報告

3 検討事項

(1) 本年度実施事業（永年勤続表彰）について

【推進会議に出席された方の意見】

- ・要件や対象がまだはっきりしていなかったのが、突っ込まれた感があった。
- ・目的が曖昧になっている。しっかり決めるとよい。
- ・参加者から、みんなが納得できるような形がよい。という話があった。
- ・魅力発信チームと協力して分かりやすい、形のあるもの。例えば何かの大会にして決勝戦を12月18日にやったらどうか。という意見もあった。
- ・続けていく制度なので、制度をじっくり考えるべきではないか。持続可能なものをどう考えていくか？
- ・他のチームに比べるとまとまっていなかったのは確かだが、チャレンジする価値はあるのではないか。
- ・制度をじっくり考えるのか、例えば方向転換するのもあり。と事務局との話ではあがった。

【その後の意見】

- ・福祉の現場で働く励みになるよう、また福祉職を続けてもらえるということで、以前からの課題であり予算もついている。やってもいないのに否定ばかりはどうなのか。まずはやってみる価値のあるもの。
- ・現場の職員にも失敗をおそれずまずはやってみよう。と声をかけている。未来を担う新城のこども達にも、まずは失敗をおそれずやってみよう。と励まし育てているのに、ここで私たちが立ち止まるのはどうなのか。

【推進会議からの意見について】

Q: 予算の関係で15名となっている。推進会議で事業所から推薦されてねたみやぎくしゃくすることがある。と言われたが実際現場はどうか？

A: 個人からの立候補ではなく、事業所で推薦して提出するためそこまでねたみなどないのではないか。

A:それはないのではないかな。

A:要件や評価は難しいが、事業所でしっかり推薦していただけるので大丈夫ではないかな。

Q:分野毎の表彰について

A:児童、障害、介護の分野がある。応募数にも差があるのでいかななものかな。

A:分野で分けると表彰の対象年数に差が出るのではないかな。

Q:重みのあるまた履歴書にかけるような名称がよいのでは。

A:堅苦しくなくてよいのではないかな。人が覚えやすいネーミングで良いのでは。

A:新城ならではというところが良いのでは。

A:履歴書に書くか？書かないのではないかな。

【表彰対象】

- ・事業所の推薦者の人数は1名にするか、それとも●名以内にするか。
→ 複数名に決める。

【その他意見】

- ・記念品については市民にも福祉のことが伝わりよいのではないかな。
- ・実行委員としてこうしていきたい。といえるしっかりとした材料があるとよい。
- ・要件の中に、『事業所としての推薦』という文言をいれるのもよいのではないかな。